

「私、増田かおるが続けてきたこと」～年4回の議会ごとに～



増田かおると子どもの未来の会事務所が
オープンしています。ぜひお越しください！

OPEN 9月9日(日)～11月18日(日)

住所 松戸市三矢小台3-9-1 齊藤ビル102号室

電話 047-710-7212

時間 午前10時～午後6時

アクセス

松戸駅西口より 市川駅行きバス、
北総線矢切駅より松戸駅行き/松戸車庫行きバス、

▶上矢切バス停下車

▶北総線矢切駅より徒歩12分

増田かおると子どもの未来の会

会は、みなさまからのカンパで成り立っています。
ぜひご支援ください。

郵便振替 00290-9-51874

「増田かおると子どもの未来の会」

〒271-0094 松戸市上矢切248-1
Tel/Fax 047-361-2557
Email ◇ matsudoshi.masuda.kaoru@gmail.com
Website ◇ <http://www.masuda-kaoru.net/>

いきいき子どもが育つまち
いきいき誰もが暮らすまち

増田かおる

「3・11の大震災」と「原発事故」を原点に立候補し、初当選させていただいてから、
あっという間に過ぎた日々でした。

「この国を変えたい。」そのためには、自分の足元から、地域から、「自分のことだ」と
気づいてもらえるような活動をしていくしかない…との想いは今も変わっていません。

「日本国憲法」は、国民一人ひとりの”個”を尊重しなさい、と謳っています。

その理念に基づいた政治をすべきなのに、実際にはそうっていないのが現状ではないかと思います。

政治は”未来を創る仕事”だと思います。

私は、この世に生まれてきた誰もが、

安心して生きられる、平和な福祉社会を望みます。

いきいきと子どもが育ち、高齢者が自分らしく人生をまっとうできる社会を望みます。

そのための活動をさらに深めていきたいと思っています。

けれども、これは一人では決して成し得ません。

皆さんお一人おひとりの「声」が必要です。

ぜひ一緒に、松戸の未来を創っていきましょう！

増田かおる プロフィール

- 1965年11月 東京都江戸川区生まれ 52歳
- 専修大学松戸高等学校卒業
- 武蔵野美術短期大学 デザイン科卒業
- 都立亀戸職業訓練校 建築製図科卒業
- マレーシア・サラワク州の熱帯雨林保護活動、
長良川河口堰建設に反対する会等、市民運動に取り組む
- 矢切小学校PTA会長（'08～'09）
- 3・11後、松戸市が汚染ホットスポットになったことを受けて、子どもを守るために積極的に活動
初めて市議会を傍聴し、子育て現役世代の母親の議員を増やすべきだと感じ、出馬を決意する
- 2014年11月、市議会議員選挙で初当選

貧困・格差のない平和な福祉のまちづくりをめざします

子どもの育ちと健康に 十分な環境を整えます

- ・小規模保育所の室内環境を充実させます
- ・中高生を含めた子どもの居場所づくりを進めます
- ・不登校の子ども・若者と親をささえる仕組みをつくります
- ・甲状腺エコー検査を含む放射能の被ばくと汚染対策を継続します

いきいき子どもが育つまちへ

甲状腺エコー検査への補助制度等、子どもの健康を守るための政策を継続させていくこと、そして子どもたちの健康を守るための予算の増額を求めています。また、中高生のための、市と市民との協働による『居場所づくり』を進めるとともに、急増する小規模保育所や利用者が増え続ける放課後児童クラブとキッズクラブの質の向上をめざします。

高齢者も ハンディを持つ人も どこにいても 自分らしく暮らせるまちにします

- ・福祉サービス事業所への共同受注の仕組みをつくります
- ・市民に身近な地域包括支援センターとし、その充実を求めます
- ・市民による助け合いの地域づくりへのサポートの仕組みをつくります

いきいき誰もが暮らすまちへ

松戸市も高齢者の割合が増え、加齢によるハンディも増えていきます。様々なハンディを持ちながらも、住み慣れたこの松戸に、いつまでも住み続けられるような仕組みづくりのため、市と市民が力を合わせる。動ける人には活躍の場を、必要な人には手助けが届くような「地域コミュニティ」をつくるために、市民（住民）を支援する制度をつくっていきます。

矢切の農業と緑を未来につなぎます

- ・松戸市内最大の耕作地の農業と自然を守ります
- ・巨大物流センターの建設よりも、農地を活かした政策を進めます

地産地消が進むまちへ

矢切は松戸の玄関口で、あの矢切の斜面林は法律で守られています。矢切耕地は市街化調整区域で、原則的には物流センターは建てられません。松戸の農地と農家は減少してきましたが、まだ多くの農産物が生産されています。とくに矢切には、まとまった農地があり、ブランド『矢切ネギ』他の多種の農産物が生産されています。地元で生産された農産物を、市と市民が応援して「地消」を進める仕組み、後継者のいない農家と新規就農者や農地拡大希望者をつなぐ仕組みをつくり、矢切に農業を育てていきます。

議員の判断を市民に公開します

- ・議案、請願などの各議員の賛否を公表します
- ・本会議に加え、各常任委員会の動画配信を実現します
- ・傍聴者に対し、資料を提供し、持ち帰りを認めます

議員の賛否が分かるまちへ

他市では、当たり前公開されている議会情報ですが、松戸市議会はいまだに公開していません（一部個人的に公開している場合があります）。議会で審議された全ての議案、請願・陳情、意見書について、それぞれの議員の判断（賛成、反対、棄権、欠席）を、HP および『市議会だより』での公開を実現します。さらに、市民が参加したくなる議会をめざして、議会の慣例や規則を変えていきます。

「貧困・格差」社会を改める自治体を求めます

- ・非正規職員の雇用のあり方を再検討・改善し、
市民サービスの向上につなげます
- ・民間住宅の借り上げを含めた市営住宅の増設を求めます

エコ・エネルギーで暮らす まちづくりを進めます

- ・可能な公共施設と希望者の屋根を借り、
太陽熱・太陽光発電を広め、松戸発電所にします
- ・水道に地下水と雨水の利用で水の自給率を高め、災害に備えます

図書館の充実で、 すべての市民を支援します

- ・中央図書館・東松戸図書館の建設は、
計画段階からの市民参加を求めます
- ・平成27年策定の図書館整備計画に則り、
松戸市直営で、管理・運営を進めます

